

こんにちは。きゅうしょくカンガルー！（奈良の学校給食を考える会）です。
梅雨が終われば暑さの本番。みなさま、いかがお過ごしでしょうか。
私たちは、おいしい給食&ほんとうの食育をめざして活動していきます。

このメルマガは、私たちの活動や奈良県内の給食をめぐる状況をお知らせしたく、
今までの活動の中で連絡先を交換させていただいた方を中心にお送りしています。
メルマガ解除をご希望の方は、お手数ですが、
oishiikyusyoku@gmail.com まで解除希望の旨をお書き添えの上ご連絡ください。

■ ■ もくじ ■ ■

1 堤未果さん講演会 参加報告

■ 1 ■ 堤未果さん講演会 参加報告

5月31日に堤未果さんの講演会に参加しましたので、内容を一部ご報告します。

エネルギー高騰、気候変動、世界人口増大などで食糧難が迫る中、2023年1月に開催されたダボス会議では、「環境に優しい農業」が提案されました。しかしその中身は「遺伝子組み換えで収量を増やす」、「デジタル農業で無人化していく」、「肉、魚、乳製品は廃止して人工で作る」、「昆虫食を主役に」など……。農業がこれまで培ってきた技術を見捨て、農業者の主権を奪うようなやり方に、世界中の農業者が激怒しました。それぞれの問題点をみてみましょう。

1. 遺伝子組み換えで収量を増やす？

日本は、世界でも例を見ないゲノム編集推進国です。「22世紀ふぐ」や「京大バーガー」などが開発されていますが、投入するエネルギーに対して本当に収量は増えるのでしょうか？また、表示がされず消費者が選べないことも問題です。消費者運動としては安全性や技術面での懸念を伝えることと並行して、表示を求める運動を広げていきたいところです。

2. デジタル農業で無人化していく？

実際に農業人口が減少する中、デジタル技術を導入して省力化、無人化は歓迎すべき技術のように感じます。しかし、そのデータを誰が管理するのが問題です。情報やノウハウを集約管理されることは、農業者の主権を奪うことにつながりま

す。そのような落とし穴に落ちないように、気をつける必要があります。

3. 肉、魚、乳製品は廃止して人工で作る？

人工肉は本当に環境に優しいのでしょうか？例えばブラジルでは 2000 年から 2017 年まで代替肉への使用目的で大豆の生産が 10%増量されましたが、そのために約 243 万ヘクタールの森林が伐採されました。人工肉・代替肉は気候変動対策として畜産に代わる選択肢として導入されはじめましたが、森林破壊は気候変動に悪影響を与える行いです。また、大豆は途中から遺伝子組み換えで作られるようになりました。代替肉は健康にも良いとされますが、遺伝子組み換えでは疑問です。

4. 昆虫食を主役に？

例えば同じたんぱく質量を得るために、コオロギは肉牛に比べて必要なエサは 12 分の 1、水は 52 分の 1、排出する CO2 は 1780 分の 1 程度ととても環境に良いと喧伝されています。しかしコオロギは細菌の数が多く、アレルギーが起こる危険性があります。また重金属類（カドミウム等）が生物濃縮されているともいわれています。日本では、遺伝子操作（ゲノム編集）でアレルギー物質を含まないコオロギを開発し、さらには表示をなくし消費者の選択の権利を奪うようなやり方で進められようとしており、知らない間に口にする危険性が高まっています。昆虫食自体の是非を問うことも必要ですが、対立せず選択肢を示すことで、消費者の選択の権利を守ることも必要な一歩です。

壊れた地球を救うカギは、温室効果ガス削減、生態系の回復、栄養・収量の増大です。これを叶えるのがアグロエコロジーのような、自然本来の循環システムに人間が寄り添う在り方です。生態系を壊さずに自然の恵みをいただくという小規模でローカルな有機を推進していく必要があります。

畜産が気候変動の原因のように言われていますが、飼い方によっては牛が土壌を再生することが明らかになっています。問題なのは肉食ではなく、工業的畜産のやり方。また、水田や森林は生物多様性の宝庫です。水田稲作が気候変動の原因とするような考えに与することはできません。

「地方分権一括法」という、地方と中央は対応であることを担保した法律が、いま緊急事態に備えて改訂されようとしています。この法律を守り、国がどのような方針を出そうとも、地方は自分たちの地域の種を守り、食の安全と安定供給を守り、独自の学校給食を実施する権利を守らなければなりません。

「食は、子どもたちに手渡せる最後の宝物です。食べ物が体に入る時、『いただきます』の精神も一緒に体に入ってくる。そういう気持ちで、食に敬意を払い、大切に守っていきたいですね」堤さんはそう締めくくりました。

●来月もお楽しみに♪●

メルマガ発信元 : きゅうしょくカンガルー! (奈良の学校給食を考える会)

E-mail : oishiikyusyoku@gmail.com

facebook : <https://www.facebook.com/oishiikyusyoku>

事務局 : 生活協同組合コープ自然派奈良内 (田原本町西竹田 33-1)
